

## 短期型カテーテル挿入に関するタイムスタディー

### 【調査の趣旨】

現在透析用カテーテルの挿入に関しては、保険収載上注射コードにより算定されております。このためDPC算定施設においてはDPC期間内の保険請求が材料費共に認められていない状況です。この度JSDTではその問題を解消すべく処置コードあるいは手術コードへの転換を行うことによって解決の方向性を見出すべく手技に関するタイムスタディーを行います。

本調査によって各施設の手技の時間などを比較する意図はなく、あくまでも外保連への提出資料として用います。このためその情報が公開されることはありません。またこの調査はチャンピオンデータを得ることが目的ではなく、現実にとどの程度の時間や労力がこの処置に費やされているのかを把握して妥当な保険点数が設定されることを目的としています。達人のデータのみではなく、研修医や不慣れな医師による手技も含めて収集します。

ご協力をお願いいたします。

### 【使用にあたって】

枠内にデータ入力をお願いいたします。10症例分ありますが、不足時には新たなファイルをコピーして作製してください。当然10症例に満たないデータでも結構です。

点数算定の参考データとなりますので可及的に正確な入力をお願いいたします。

※提出期限は 2020年7月31日までにお願いいたします。

一般社団法人 日本透析医学会  
保険委員会  
委員長 竜崎 崇和

※入力等の不明な点は  
mizuya@yamanashi.ac.jp 深澤までご連絡ください。

提出先

一般社団法人日本透析医学会  
事務局  
manager2@jsdt.or.jp

